



平成 29 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 藤 久 株式会社  
FUJIKYU CORPORATION  
代 表 者 名 代表取締役社長 後藤 薫徳  
(コード：9966 東証第一部・名証第一部)  
問 合 せ 先 取締役総務部長 樹神 雄二  
(TEL 052-774-1181 代表)

### 業績予想の修正及び特別損失（減損損失）計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年5月9日に公表しました平成29年6月期通期（平成28年7月1日～平成29年6月30日）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、特別損失（減損損失）を計上することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成29年6月期通期業績予想の修正（平成28年7月1日～平成29年6月30日）（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	21,943	332	342	18	4円48銭
今回修正予想（B）	21,387	△ 4	5	△ 520	△123円72銭
増減額（B－A）	△ 556	△ 336	△ 337	△ 538	—
増減率（%）	△ 2.5	—	△ 98.5	—	—
（ご参考）前期実績 （平成28年6月期）	21,800	272	281	△ 55	△ 13円09銭

#### 2. 業績予想の修正及び特別損失計上の理由

売上高につきましては、各種施策の実施により既存店売上高の向上に努めてまいりましたが、毛糸を除く商品区分で前年を下回る厳しい商況となり、全業態既存店売上高は前年度比1.9%減となる見通しで、前回公表値を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、広告宣伝費などの効率的な使用に努め、販管費は抑制いたしましたが、売上総利益の減益分を補うには至らず営業損失となり、経常利益も前回予想を下回る見込みとなりました。また、店舗業績の悪化に伴う減損損失（2億88百万円）及び繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額（82百万円）などを計上し、当期純損失となる見込みとなりましたので、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

なお、当社は収益や配当性向を総合的に勘案して利益還元を行うこととしており、平成29年6月期の配当につきましては、平成29年5月9日に公表しましたとおり、期末配当として1株当たり10円を予定しております。

（注）上記の予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上